

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	都市計画課
	施策	防災・減災対策の充実		電話番号	087-839-2455
	基本事業	避難所などの耐震化及び急傾斜地崩壊防止対策の推進		事業実施主体	民間企業
	事務事業	鉄道施設安全対策事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	今後発生が予想される地震や経年劣化による鉄道施設の被害を未然に防止し、災害発生時における緊急応急活動の機能確保や鉄道利用者の安全確保を図るため、緊急輸送路との交差箇所での耐震対策及び老朽化が認められる施設の長寿命化対策の実施に対し、事業主体である鉄道事業者へ事業費の一部を支援する。
-------	---

29年度概要	J R 四国 栗林高架（長寿命化） 高欄改良 L = 3 0 0 m
--------	--

重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	6-	事務事業の類型
--------	------	----------	----	---------



【事業の目的】

対象（何を）	補助対象事業者：鉄道事業者（J R 四国、琴電） 耐震対策事業：緊急輸送道路と交差する高架橋 長寿命化対策事業：老朽化が認められる鉄道施設
意図（どのような状態にしたいか）	緊急輸送道路と交差する鉄道施設の耐震補強及び老朽化施設の長寿命化対策を実施し、災害発生時における緊急応急活動の機能を確保するとともに、鉄道の安全運行及び鉄道利用者の安全確保を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
耐震補強施工箇所	箇所				25	25
改良済延長（J R 栗林高架）	m				1,209	2,109

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
成果指標	耐震補強化率（事業費ベース）	%	目標値			100	100	100
			実績値			100		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 栗林第2架道橋（J R）の柱補強 N = 6 本、仏生山架道橋（琴電）の落橋防止対策 N = 6 箇所の施工が完了し、目標どおり耐震補強が進捗した。 		(目標達成度)					(達成度) 100.0% 35点
	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
成果指標	長寿命化率（事業費ベース）	%	目標値			23	30	52
			実績値			23		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 栗林架道橋（J R）の高欄改良 L = 3 0 4 . 7 m、仏生山架道橋（琴電）の塗装替 A = 5 2 0 m <sup>2</sup> の施工が完了し、目標どおり長寿命化が進捗した。 		(目標達成度)					(達成度) 100.0% 35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度（決算）	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（予算）
トータルコスト	[円]	18,759	25,559	30,768	17,120
（事業費）	[円]	17,652	24,407	28,648	15,000
（職員人件費）	[円]	1,107	1,152	2,120	2,120

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

耐震対策事業は、鉄道高架柱 N = 6 本の補強及び落橋防止装置 N = 6 箇所の設置により、当該事業は完了となった。長寿命化対策事業は、高欄 L = 3 0 4 . 7 m の改良、架道橋 A = 5 2 0 m<sup>2</sup> の再塗装の実施によって予定どおり事業が進捗した。引き続き円滑な事業進捗による早期の事業完了が望まれる。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

継続のため改革案なし